

網走市新庁舎建設基本・実施設計業務委託

公募型プロポーザル

審査結果報告書

令和2年12月

網走市新庁舎建設基本・実施設計プロポーザル審査委員会

1. 本プロポーザルの経緯

(1) 概要

網走市では、網走市新庁舎建設基本構想の内容を十分に踏まえつつ、網走市らしさを備えた機能的で利便性が高く、災害に強い庁舎の建設を進めるため、幅広い設計者の中から最適な設計者を選定することとしました。基本構想の実現に向けて、最適な設計者を選定するに当たり、設計者の柔軟かつ高度な発想力・設計能力・経験等を求めることができ、また、設計段階においても発注者や市民の意見を比較的容易に反映ができる「公募型プロポーザル方式」を採用し、選定の作業を進めてきました。

(2) 網走市新庁舎建設基本・実施設計プロポーザル審査委員会

令和2年10月に「網走市新庁舎建設基本・実施設計プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）」を設置し、下記の7名の審査委員により選定のための審査を行うこととしました。

<審査委員会委員>

委員長	川田 昌弘	網走市副市長
副委員長	後藤 利博	網走市庁舎整備推進室長
委員	吉田 穂積	東京農業大学学部長
委員	岩永 雅浩	網走市企画総務部長
委員	吉田 憲弘	網走市建設港湾部長
委員	永森 浩子	網走市健康福祉部健康推進課長
委員	渡邊 眞知子	網走市市民環境部戸籍保険課参事

(3) 募集及び審査の進め方

No.	内 容	日 程
1	実施要領等の公表	令和2年10月 2日 (金)
2	参加表明書等に関する質問の受付締切	令和2年10月12日 (月)
3	参加表明書等に関する質問への回答	令和2年10月15日 (木)
4	参加表明書等の受付締切	令和2年10月22日 (木)
5	一次審査結果の通知	令和2年10月26日 (月)
6	技術提案書等に関する質問の受付締切	令和2年11月 9日 (月)
7	技術提案書等に関する質問への回答	令和2年11月12日 (木)
8	技術提案書等の受付締切	令和2年11月20日 (金)
9	プレゼンテーション及びヒアリング	令和2年11月27日 (金)
10	二次審査結果の通知	令和2年12月 1日 (火)
11	二次審査結果の公表	令和2年12月 4日 (金)
12	契約予定時期	令和2年12月初旬

(4) 一次審査

参加表明書の提出期限である令和2年10月22日までに、応募者3者から参加表明書等の提出がありました。

この提出された書類について、プロポーザル実施要領、プロポーザル評価要領に基づき、審査を行いました。

審査の結果、参加表明のあった応募者3者のうち全3者を、プレゼンテーション及びヒアリング審査（二次審査）の対象者として選定しました。

(5) 二次審査

プレゼンテーション及びヒアリング審査対象者として選定された3者より令和2年11月20日までに技術提案書等の提出があり、令和2年11月27日にプレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。

審査の内容については、業務履行方針及び各特定テーマについて、各委員が妥当性並びに的確性等の観点から評価しました。また、参考見積金額の経済性について評価しました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査終了後に、審査委員会による最終審査を行い、最優秀提案者（受託候補者）及び優秀提案者（次点者）を選定しました。

<技術提案内容>

- ・業務履行方針
- ・テーマ1：利用しやすくまちづくりの拠点にふさわしい庁舎の実現に関する提案
- ・テーマ2：安全・安心な防災拠点となる機能を備えた庁舎の実現に関する提案
- ・テーマ3：コンパクトな庁舎規模と建設コストの抑制に関する提案
- ・テーマ4：環境負荷の低減とライフサイクルコストの縮減に配慮した庁舎の実現に関する提案
- ・テーマ5：その他独自の提案
- ・参考見積書

2. 審査結果

応募者名	総合評価点
A者	707.6点
B者	736.1点
C者	735.6点

最優秀提案者（受託候補者）：B者 株式会社NTTファシリティーズ 北海道支店
優秀提案者（次点者）：C者 久米・道設監 設計共同企業体

3. 審査講評

網走市新庁舎建設基本・実施設計業務委託に係る設計者の選定は、一次審査と二次審査の2段階で行いました。

一次審査では、3者から参加表明書の提出があり、提出された書類に基づき各者の実施体制及び過去の設計業務の実績、配置予定技術者の資格及び過去の設計業務実績等について評価を行いました。この結果、3者全てを二次審査の対象として選定いたしました。

二次審査では、プレゼンテーションに基づき7名の委員の専門的観点からの質疑を行い、各者の技術力を評価いたしました。

評価は、各者に提案を求めた業務履行方針と5つのテーマ、参考見積額に沿って、業務の実施方針、取組体制、設計チームの特徴、理解度及び取組意欲、各テーマに対する技術提案の的確性・独創性・実現性について厳正なる審査を行いました。

各者からは、技術の応用例を含めてさまざまなご提案をまとめていただき、利用のしやすさ、防災拠点の実現、建設コストの抑制、環境負荷の低減や長寿命化、網走らしさの表現など、多くの貴重なご提案をいただくことができました。

二次審査終了後、各委員が評価を行い、一次審査と総合して最優秀提案者（受託候補者）及び優秀提案者（次点者）を選定いたしました。

最優秀提案者（受託候補者）となりました株式会社NTTファシリティーズ 北海道支店は、本プロジェクトへの取組体制のほかグループ会社との連携により、幅広い視点での提案が可能となるほか、市内にサテライトオフィスを設置し事務担当者を置くなど、実施方針や取組体制等について高い評価となりました。

また、特定テーマに対する技術提案についても基本構想の内容を十分に理解した上で、当市の将来やICTの進展などを見据えた具体的な提案となっており、確実な設計業務が期待できることから、最優秀提案者として選定いたしました。

優秀提案者（次点者）を含めたその他の提案者からも、網走市の地域特性を踏まえた独創的で優れたご提案をいただきましたが、相対的に最優秀提案者が高く評価される結果となりました。

終わりに、本プロポーザルにご参加いただいた各事業者におかれましては、貴重な時間を費やし真摯に努力いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

網走市新庁舎建設基本・実施設計プロポーザル審査委員会
委員長 川田 昌弘